

【主題名】誠実に生きる 内容項目 「A-(2) 正直, 誠実」

【教材名】豆電球 (令和元年度長期研修員自作資料)

<あらすじ>教室で、理科の実験で使う豆電球がなくなる。誰がいたずらをしたのか名乗り出るまで帰ることができなかったため、主人公が「私がやりました」と、うその報告をしてしまう。そのうそに気付いた担任に、やさしく諭され、主人公は涙が止まらなかった。

【ねらい】

内容項目の理解

正直, 誠実の中で, 誠実という道徳的価値について指導する。

児童生徒の実態把握

うそをつくことによって, 周りの信頼だけでなく, 誇りや自信を失ってしまうことに気付いていない。

本時のねらいを設定する

判断力 心情 実践意欲 態度

自己の過ちに気づき, 改めていく素直さとともに, 誠実な生き方を大切にする道徳的心情を育てる。

【学習指導過程】

段階	学習活動 ○主な発問 (◎中心発問)	考え議論する道徳ポイント集
導入	1 課題をつかむ。 「誠実な心」の大切さについて考えよう。 ○ 「誠実」とはどのような意味ですか。	
展開	2 教材の前半を読み, ゆうこの行動について考える。 ○ ゆうこは, どのようなうそをつきましたか。 ○ あなたは, ゆうこの行動をどのように思いますか。 ○ 教室に向かったゆうこは, どのような気持ちだったのでしょうか。 3 資料の後半を読み, 「誠実な心」の大切さについて考える。 ◎ ゆうこの涙には, どのような気持ちが込められていたのでしょうか。 ○ 「誠実な心」とは, どのような心だと思いましたか。自分の言葉で書いてみましょう。(児童が付箋に書いて, 黒板に貼る)	教材の活用 自分との関わり 多面的・多角的 展開の工夫 板書の工夫
終末	4 自己の生き方についての考えを深める。 ○ 授業を通して分かったこと, いいなと感じたこと, これからの自分に生かしていきたいことを書きましょう。	終末の工夫

【板書計画】

場面②

場面①

ゆうこのうそ

- 先生のショック 悲しい信用していたのに
- クラス 残念どうして...
- 自分の心 もやもやする 後悔

涙に込められた思い

- やさしいうそ
- 悪いこと・うそつき

第○回道徳

「誠実な心」の大切さについて考えよう。

【評価】

誠実に生きることの大切さについて, 自分との関わりで考える学習を通して, 多面的・多角的に考えようとしていたか。